

故郷への思いと、未来への決意を胸に

令和7年度久慈市 二十歳のつどい

1月11日、令和7年度久慈市二十歳のつどいがアンバーホールで開催されました。二十歳を迎えた244人が出席。振り袖や袴など晴れ姿で、家族や級友、恩師と節目の年を祝いました。祝典では参加者を代表し、中公来夏さん、浅水心結さん、大道結衣さん、中屋敷祐介さんがあいさつ。感謝と思いやりの心を忘れず、それぞれの夢に向けて歩みを進め、久慈市を担い、恩返しのできる人間になれるようにと決意を語りました。二十歳のつどい実行委員会が企画した記念行事には、各中学校の恩師が登場。懐かしの姿や激励の言葉に、参加者に笑みがこぼれました。実行委員会が地域の企業に協賛を募り開催した、地域の特産が当たる「実家のあるまち抽選会」では、番号が呼ばれる度に歓声が上がりました。記念行事の最後は、恩師や家族へ感謝の気持ちと、夢や希望を叫びこれからの決意を託した花火を打ち上げ、門出を締めくくりました。



式典・記念行事の様子

1／笑顔で会場に向かう二十歳の皆さん 2／真剣な表情でお祝いの言葉に耳を傾ける 3／参加者を代表してあいさつをした、左から中公さん、浅水さん、大道さん、中屋敷さん 4／懐かしい恩師のあいさつに笑顔 5／抽選会では、番号が呼ばれるたびに歓声が上がりました 6／夜空に打ち上げられた花火 7／花火の打ち上げに合わせ、それぞれの夢や希望を叫びました



家族と一



恩師と一



級友と一

